

槻川の沿川地域の利活用・イベント



子どもによるウグイの放流



小学校の遠足の風景(水切りや石積み)



紅葉祭り



小川町七夕祭り

槻川沿川地域イベントスケジュール



地域と行政が連携した維持管理

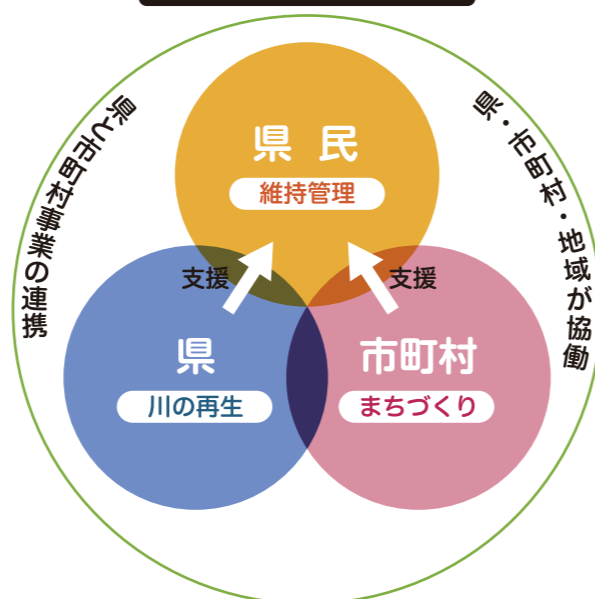
維持管理の目的

槻川の再生のためには、川が地域の共有財産として親しまれ、地域の交流が生まれ育まれるように、継続的な地域活動や維持管理が重要です。それらを達成するために、地域住民・市民団体・観光協会・町・県などが連携しながら進めていきます。

維持管理の活動内容

新たに整備した遊歩道付近、礫河原再生範囲、樹木伐採箇所などを対象として、維持管理内容としては、河川清掃(ごみ拾い)及び除草を県民(小川町・嵐山町)が中心となり、県や市町村の協力を得ながら進めていきます。

共助による川の再生



槻川のまるごと再生プロジェクト



武蔵の小京都・槻川 自然と伝統のまちづくり

川のまるごと再生プロジェクトとは

埼玉県では「清流の復活」、「安らぎと賑わいの空間創出」を二本柱として川の再生に取り組んでいます。川のまるごと再生プロジェクトは、まちづくりと連携して、線的にも面的にも広がりを持った川の再生を行うものです。

特徴

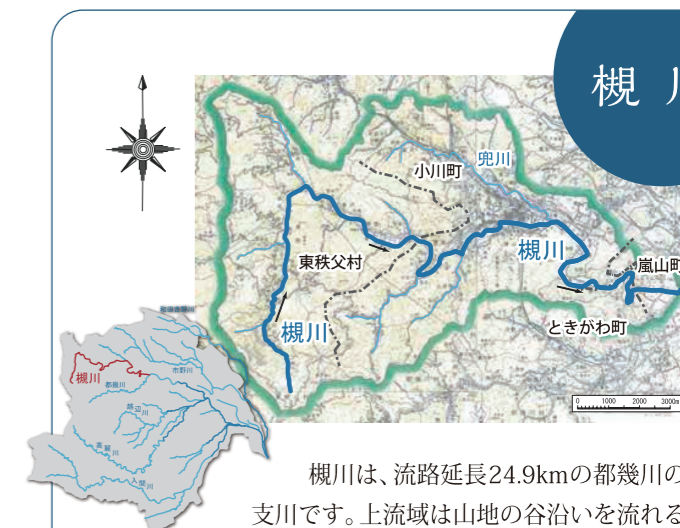
- 一つの市町村若しくは複数の市町村を流れる川をまるごと対象にして、まちづくりと一体となり川を再生
- 県と市町村事業の連携
- 県・市町村・地域が協働

槻川のまるごと再生プロジェクト

一級河川槻川(嵐山町区間約4.5km、小川町区間約11.1km)を対象に周辺地域におけるまちづくりと一体となって河川空間を整備し、利活用をはかりました。

事業期間は、平成25年度～平成27年度の3年間です。

槻川



槻川は、流路延長24.9kmの都幾川の支川です。上流域は山地の谷谷いを流れる急流河川で、中流域の河道は蛇行し、瀬・淵や河畔林が連続しています。下流域は岩が露出した嵐山渓谷として、県の景勝地の一つとなっています。

お問い合わせ

埼玉県東松山県土整備事務所

〒355-0024 埼玉県東松山市六軒町 5-1

TEL: 0493-22-2333 / FAX: 0493-21-1214

URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1006/>

嵐山町 まちづくり整備課

〒355-0211 埼玉県比企郡嵐山町大字杉山 1030-1

TEL: 0493-62-2150 / FAX: 0493-62-0713

URL: <http://www.town.ranzan.saitama.jp/>

小川町 建設課

〒355-0392 埼玉県小川町大字大塚 55

TEL: 0493-72-1221 / FAX: 0493-74-2920

URL: <http://www.town.ogawa.saitama.jp/>

整備内容
について
小川町区間



1 梶本親水公園
(水辺再生100プラン整備箇所)



2 柳川親水公園



3 カタクリの群生地



4 彼岸花の群生地

写真について

- (orange) みどころ
- (red) 整備箇所

柳川のまるごと再生プロジェクト 整備内容 切通橋～坂田橋下流区間



施設凡例

行政界	トイレ
駅	駐車場
線路	桜並木
254 国道	各種植栽
273 主要地方道・県道	遊歩道整備
公共施設・学校	既存の遊歩道
みどころ	既存の町道
寺社・仏閣・城跡	護岸工整備
公園等	階段・坂路等の整備
道の駅	飛び石等

9 代表的なハードの取組み



不動尊の滝周辺の拠点施設 (飛び石・階段護岸の整備)

10 代表的なソフトの取組み



おがわ紅葉まつり (遊歩道マップの作成)

整備内容
について
嵐山町区間



槻川のまると再生プロジェクト 整備内容 二瀬橋～小川町境区間

施設凡例	
行政界	道の駅
駅	トイレ
線路	駐車場
国道	桜並木
主要地方道・県道	各種植栽
公共施設・学校	遊歩道整備
みどころ	既存の遊歩道
寺社・仏閣・城跡	護岸工整備
公園等	階段・坂路等の整備
その他の施設	飛び石



まちづくりの取組み

武蔵の小京都・槻川

自然と伝統のまちづくり

嵐山町と小川町をつなぐ遊歩道

川のまると再生プロジェクトにより、槻川沿いに点在する史跡・名所などの地域資源を結び、槻川沿いの豊かな自然とまちの歴史・文化を楽しみ散策できる回廊をつくることで、まちの活性化につなげます。

親しみやすい水辺へ

槻川が本来もっている価値を引き出すとともに、人と自然のふれあいが生まれる水辺空間をつくり、地域と連携した魅力ある川づくりへの取組みを行うことで、地域に親しまれる水辺をつくります。

県の取組み

嵐山町及び小川町の取組み状況を踏まえて、川のまると再生プロジェクトの主旨に沿った整備を実施しました。

- 水辺に近づくための施設整備(階段、飛び石、親水護岸等)
- 遊歩道の整備、篠やぶ・樹木の伐採
- 多目的広場(駐車スペース等)の整備

嵐山町の取組み

回遊ネットワーク整備におけるハードの取組みに加えて、植栽や案内看板の整備、嵐山渓谷のための案内支援を行います。

- 武蔵嵐山周辺環境整備(モミジの植栽等)
- 市町村管理型合併浄化槽事業の実施
- 観光ルート看板の設置
- ハイキングルートの再整備、PR
- 自然を活かした遊歩道の質の向上・拡充
- 観光ボランティア等の育成

小川町の取組み

新たな水辺空間を活用し、子供たちの自然学習や地域イベントとの連携を図ります。また、和紙づくりのPR看板設置や河川浄化に取組みます。

- 町道改良整備(既存歩道の改良等)
- トイレ整備事業
- 遊歩道の整備(並木創出を含む)
- 河川浄化の取組み等
- 遊歩道の案内看板設置

槻川のまるごと再生プロジェクトの検討経緯

行政と住民の代表が3年にわたって意見交換を重ねて、槻川のまるごと再生計画をとりまとめました。

検討対象場所 槻川[県管理区間]の小川町区間(約11.1km)、嵐山町区間(約4.5km)及びその周辺地域

メンバー 県、町職員、自治会代表、活動団体、学校などで構成

部会及び全体会



槻川全体会の様子



小川町部会の様子

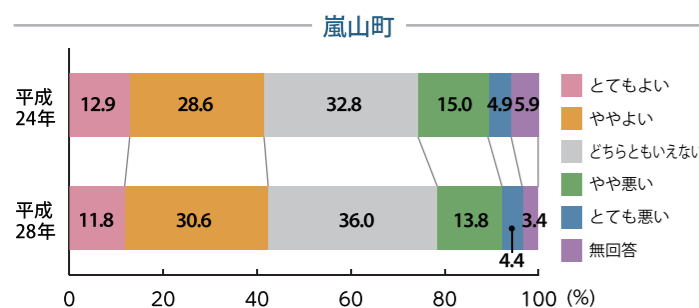
	嵐山町部会	小川町部会	槻川全体会	意見交換の内容
平成25年度	第1回	第1回	第1回	まちづくりと川の整備方針、維持管理について、アンケート調査概要 現地視察、まちづくりの取組み(案)、川の整備計画(案)、維持管理の役割分担 まちづくりと川の取組み内容の方針 アンケート結果、地区説明会の結果
	第2回	第2回		
	第3回			
	第4回			
	第5回	第3回	第2回	全体テーマ(案)、槻川の整備イメージ(案)、維持管理計画(素案) 川の整備計画(案)、維持管理の役割分担(案)
第6回	第4回			
	第5回			
平成26年度	第6回	第6回	第3回	平成26年度実施事業、利活用と維持管理計画、整備計画の変更
	第7回	第7回	第4回	現地視察、川の整備計画(案)の変更、拠点詳細計画、利活用と維持管理計画
		第8回		
平成27年度	第8回	第9回	第5回	まちづくりの取組み状況、利活用について、維持管理の役割分担
	第9回	第10回	第6回	まちづくりの取組み状況、川の整備計画(案)の修正、利活用について

利用者の声

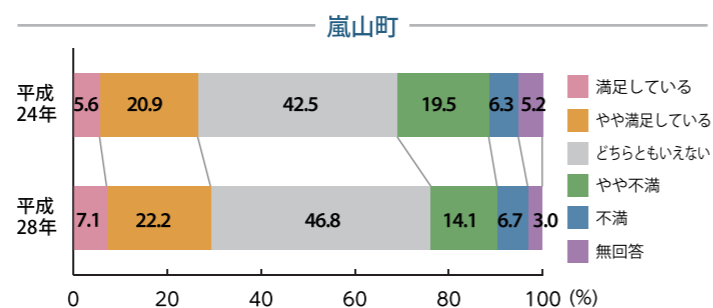
小川町と嵐山町の町民に合計約2700名を対象にアンケート調査を実施しました。調査は再生プロジェクトの事業前と事業後の2回にわたって実施しました。調査内容は合計32項目に及びますが、ここでは以下の2項目について紹介します。

「川辺で遊ぶ場合、良好な場だと思えるか」における「とてもよい」「ややよい」の割合は、事後に大きく伸びています。また、「槻川に対して満足しているか」における「満足」「やや満足」の割合は、満足度が大幅に増加しています。

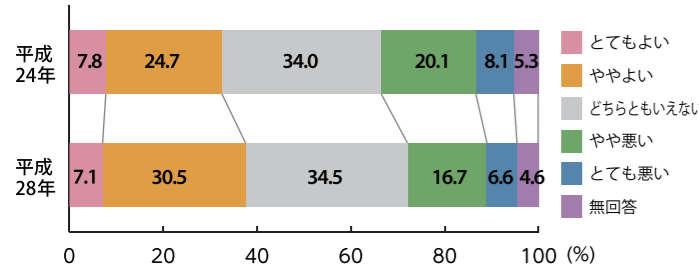
槻川の川辺は遊び場として良好か



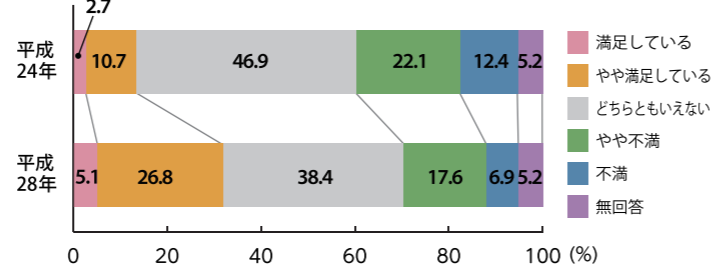
槻川への満足度



小川町



小川町



整備前後の比較にみる事業効果

嵐山溪谷の飛び石 嵐山町

嵐山溪谷のバーベキュー場から左岸側の遊歩道に渡るため、帯工と一体となった飛び石を設置しました。



整備前

また、バーベキュー場から水辺に至る河川内の河原の道に踏み石を設置して、さらに篠藪等の伐採、間伐などを実施して、歩行者が安心して散策できるような整備をはかりました。嵐山溪谷のバーベキュー場の側から既存の観光資源である大平山などの武蔵嵐山公園全体のネットワークが実現しました。



整備後



整備前



整備後

槻川親水公園周辺の拠点施設 小川町

川のまるごと再生プロジェクト整備事業により低水路部に川沿いを歩く飛び石などを設置することで、親水性のある魅力的な水辺空間ができました。また、河畔の樹林の一部を伐採して広々とした風景が生まれました。近くに小学校があり環境学習の場として生かされています。



整備前



整備後

不動尊の滝周辺の拠点施設 小川町

河川施設の法面工を改修して、階段工として水際を歩けるように整備しました。さらに、対岸に渡れるように飛び石を設置しました。これにより、不動尊の滝周辺へのアクセスが改善されて、新たに利用者が生まれています。



整備前



整備後